様式2

都市再生整備計画　事後評価シート(案)

別府公園周辺地区

令和8年10月

大分県別府市

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	別府市	地区名	別府公園周辺地区			面積	80 ha
交付期間	令和 3 年度　～ 令和 7 年度	事後評価実施時期	令和8年度	交付対象事業費	3,466.3百万円	国費率	50%		

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園（別府公園）、誘導施設（図書館）、地域生活基盤施設（市民広場、情報板整備）、高質空間形成施設（市道富士見通線）
	提案事業	事業活用調査（歩行空間形成検討調査、事業効果分析調査）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設（市道富士見通線）	整備対象を「市道富士見通線」から「市道富士見通線外2線」へ変更したため	影響なし
	提案事業	－	－	－
新たに追加した事業	基幹事業	高次都市施設（地域交流センター）、高質空間形成施設（市道富士見通線外2線）、道路（市道富士見通線外2線）	地区目標を達成するために事業を追加	影響なし
	提案事業	－	－	－

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
当　初	令和3年～令和7年		－
変　更	－		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	新図書館の利用者数	人/年	143,000	H30	500,000	R7		559,120	○	あり／なし	新図書館の整備及び周辺道路の整備により、利用者数が増加	R9年3月末
指標2	市道富士見通線の歩行者数	人/8H	247	R2	370	R7		434	○	あり／なし	市道富士見通線の整備や新図書館、別府公園の整備により歩行者数が増加	
指標3	中心市街地の活気の満足度	%	18	R1	27	R7		35	○	あり／なし	複合施設「こもれびパーク」、「市民広場」、「別府公園」の整備等が、活気向上に寄与	
指標4										あり／なし		
指標5										あり／なし		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	－	－
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	－	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	－	
官民連携による取組	新図書館の運営に関しては、行政、市民、民間事業者の参画による「官民連携プラットフォーム」を組織し、社会の多様なニーズや、新しい時代の要請に応える機能やサービスを民間主導・行政支援型で実施することを検討	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	引き続き、民間主導・行政支援型の運営により、社会の多様なニーズや新しい時代の要請に応える機能やサービスを提供する
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	－	－
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	－	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	－	

様式2－2　地区の概要

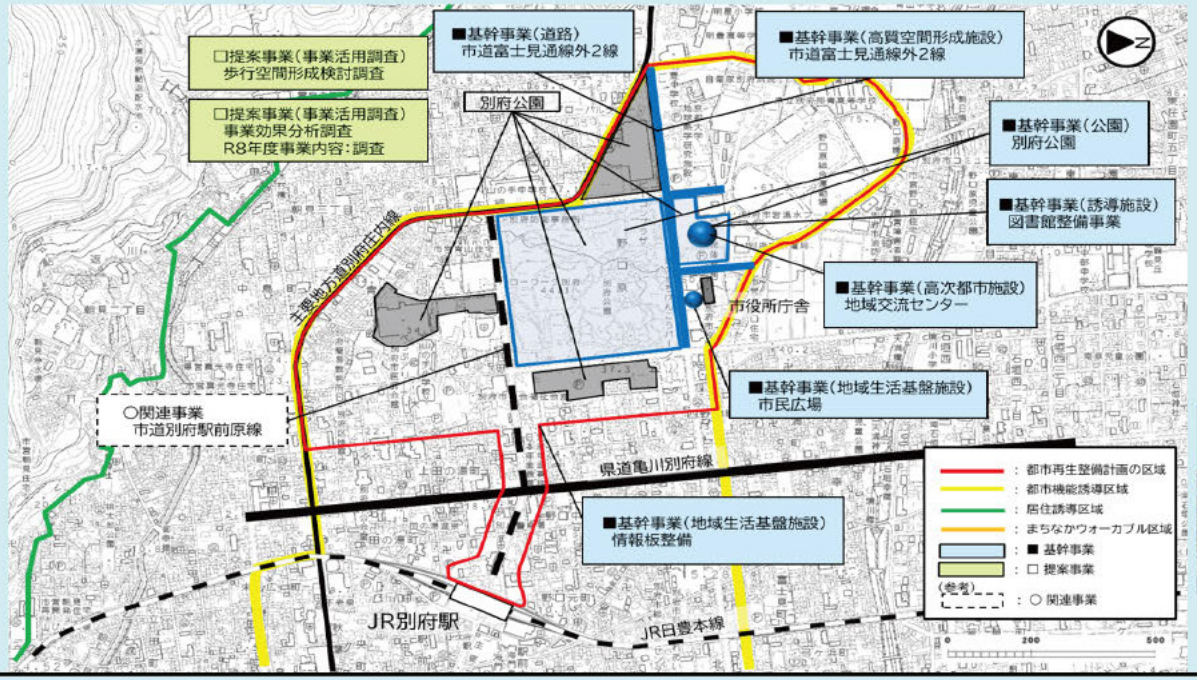
別府公園周辺地区（大分県別府市）　都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
・JR別府駅を中心とした別府公園周辺を含む中心拠点の賑わいの再生 ・学びの拠点として、図書館及び地域交流センターの一体的な整備による多くの市民が集う新しい魅力の創出 ・周辺の既存施設の再整備や導線の整備によるネットワーク及び歩行空間の形成	新図書館の利用者数	単位：人/年	143,000	H30	500,000	R7	559,120	R8
	市道富士見通線の歩行者数	単位：人/8h	247	R2	370	R7	434	R8
	中心市街地の活気の満足度	単位：%	18	R1	27	R7	35	R7

基幹事業

高次都市施設：地域交流センター

地域生活基盤施設：市民広場



道路事業：
市道富士見通線外2線

高質空間形成施設：
市道富士見通線外2線

公園事業
別府公園

誘導施設：図書館

まちの課題の変化	・「図書館」、「別府公園」を整備・更新した他、「市民広場」や「地域交流センター」を整備したことにより、中心拠点の活性化が図られている。 ・新図書館と地域交流センターが複合した「こもれびパーク」の整備により、図書館、地域・郷土資料館、交流サロン、多目的ホール、スタジオ等が整備され、人が集まる基盤が整備されている。 ・基幹事業である「市道富士見通線外2線」や関連事業である「市道別府駅前原線」の整備により、歩行空間が改良され、良好な歩行空間が形成されている。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・整備した道路の歩行空間について、歩きたくなる歩行空間を維持するためのメンテナンスとして、日常管理や定期点検を行う。 ・中心拠点の空洞化解消を目的として、行政サービス施設、医療施設、福祉・介護施設、商業施設の集約を検討する。 ・整備した新図書館を活用した集いの場、憩いの場を形成するために、幅広い世代の人が集まる拠点づくりが必要であり、そのために「こもれびパーク」でのイベント実施や新図書館の概要に関する周知の強化等を実施する。